



カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2015年7月号（526号）》

目 次

報 告

・常任司教委員会	1
・典礼委員会	3
・学校教育委員会	3
・諸宗教部門	5
・正義と平和協議会	5
・部落差別人権委員会	8
・日本キリスト教連合会	10
・外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会.....	12
・HIV/AIDS デスク	12
・中央協議会事務局（総務）	13

常任司教委員会

■5月定例常任司教委員会

日 時 2015年5月8日（金）10：00－14：30

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 委 員 7人

事務局 5人

報 告

1. 第 21 回日韓司教交流会準備について

2015 年 3 月 3 日に韓国で行われた今年の日韓司教交流会準備のための会合報告が前田万葉大司教から行われた。今年の交流会のテーマは「戦後 70 年のあいだカトリック教会は社会の中でどのように福音を生きてきたか？」とし、使徒的勧告『福音の喜び』をもとに、私たちの 70 年を評価して反省する内容とし、11 月 10 日－12 日に横浜教区で開催する。

2. 中央協議会口座の東日本大震災復興義援金残高について

4 月 30 日現在の中央協議会口座の東日本大震災関連・義援金残高報告が行われた。義援金総額は 73,541,948 円、支出合計は、54,339,347 円、残高は 19,202,601 円となった。

審 議

1. 2015 年度定例司教総会内容確認について

本年 6 月 15 日－19 日に開催予定の定例司教総会で取り扱う事項の内容確認を行った。

2. 『いのちへのまなざし』改訂について

在庫僅少となった『いのちへのまなざし』については、時代に見合った大幅な改訂とすることを念頭に定例司教総会に諮ることができるよう、6 月常任司教委員会までに提案内容を整える。

3. 「日本のカトリック教会と脱原発」（仮題）勉強会について

2015 年度定例司教総会中に行われる「日本のカトリック教会と脱原発」勉強会の内容を承認した。

4. 2015 年度「司教の集い」の準備について

2015 年度「司教の集い」で取り扱う、「新しい『ローマ・ミサ典礼書の総則』に基づく変更を本年 11 月 29 日から実施するにあたり、学んでおくべきこと」の具体的プログラムを承認した。

5. 日本聖書協会翻訳部からの検討依頼事項への対応手順について

聖書新翻訳事業を行っている日本聖書協会翻訳部からの検討依頼への対応手順として以下の事項を承認した。

①カトリック教会の教義や伝統的な聖書の釈義に関連する重要事項は司教総会において検討する。

②①以外の検討依頼事項については、原則として常任司教委員会において検討する。

6. 2016 年祈祷の使徒「日本の教会の意向」について

本常任司教委員会の諸意見に基づき修正を加えた 2016 年祈祷の使徒「日本の教会の意向」を 6 月常任司教委員会に諮って確定する。

7. 『教会の宣教活動に関する教令』発布 50 周年にあたっての取り組みについて

『教会の宣教活動に関する教令』発布 50 周年にあたっての取り組みとして、新福音化委員会から提案された 2015 年「世界宣教の日」（10 月 18 日）に各教区で『教会の宣教活動に関する教令』発布 50 周年記念ミサを行うことを承認した。

8. 日本カトリック医師会からの後援依頼について

日本カトリック医師会石島武一名誉会長からの「第 16 回アジア・カトリック医師会総会」の後援依頼については、「日本カトリック司教協議会」として後援することを承認した。

9. 中央協議会発行出版物の企画承認について

出版審議会から提出された書籍を以下のとおり中央協議会から発行することと常任司教委員会の諸意見に基づいて一部修正を加えた出版企画書を承認した。

①書籍名 YOUCAT－堅信の秘跡

内 容 YOUCAT の姉妹編である堅信のカテケーシスの邦訳出版

②書籍名 秘跡・聖霊のたまもの・教会－教皇講話集

内 容 教皇フランシスコの一般謁見連続講話のペトロ文庫での発刊

③書籍名 『「人生の秋を見つめる」2014 シンポジウム記録』

内 容 諸宗教部門主催のシンポジウム 2014 年開催分の記録

典礼委員会

■定例会議

日 時 2015年5月18日(月) 10:00-14:15

場 所 日本カトリック会館 会議室3

出席者 9人

欠席者 1人

報 告

1. 齋藤紳二委員の帰天について

2007年9月から当委員会の委員を務めた齋藤紳二助祭(さいたま教区)が本年3月13日に帰天。享年75歳。

2. 新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」に基づく変更箇所を公表する冊子について

本年11月29日(待降節第1主日)から実施する、新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」に基づく変更箇所を公表するための冊子は6月中旬発行の予定。各教区事務局を通じて司祭を中心に無料配布する。また、2015年度定例司教総会中の「司教の集い」でも掲記冊子を用いて司教の勉強会が行われる。

3. 『キリストの神秘を祝うー典礼暦年の霊性と信心』の出版について

2009年度と2010年度の全国典礼担当者会議におけるプレゼンテーションの講演録が、カトリック中央協議会出版部より6月上旬に出版される。

審 議

1. アド・リミナ期間中の典礼秘跡省訪問ならびに今後の対応について

本年3月のアド・リミナ期間中に行われた全司教による典礼秘跡省訪問について、梅村委員長が報告を行った。それを受けて意見交換を行い、今後の対応として、同省の新担当官について確認する。

2. 2015年度全国典礼担当者会議について

本年9月14日-16日に中軽井沢・御聖体の宣教クララ修道会で開催する掲記会議のプログラムについて、最終確認を行った。全体のテーマを「感謝の祭儀を味わい深く、美しくー『総則』改訂版に基づく司式の確認と実習」と確定した。

3. 「司祭不在のときの主日の集会祭儀」儀式書の「諸言」について

当委員会で2013年3月より検討を重ねてきた「司祭不在のときの主日の集会祭儀」儀式書に掲載する「諸言」について、検討を行った。今会合での意見をふまえて修正し、検討を継続する。

次回定例会議 2015年7月6日(月) 10:00-15:30 日本カトリック会館

学校教育委員会

■第148回学校教育委員会

日 時 2015年4月9日(木) 15:30-20:00

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 9人

新委員 坪光正躬(学校連合会) 自己紹介があった。

報 告

1. 「第 28 回校長・理事長・総長管区長の集い」関連報告
 - ・参加申し込み 193 人となった。
 - ・学校連合会と学校教育委員会について話す時間で使う資料原稿の検討が提案された。
 - ・正義と平和協議会(正平協)より、「日本国憲法をまもって武力によらない平和を！」のポスター発送にあたり、説明のためにチラシを配布資料に同封したいとの依頼があり、検討の結果、「正平協の封筒に入れて、受付の時に資料の封筒と一緒に渡す」ことが決まった。
 - ・上智大学の通信制度導入のためのアンケートを配ることが前回作業部会で了承されたので、教材紹介の後、正平協による説明の前の 1 分くらいをアンケートの説明に充てることが承認された。
2. 2015 年度「長崎・五島列島研修旅行」について(清水委員)
23 人参加。増税を考慮して参加費を 50,000 円に設定したが、吸収しきれず経費が大変厳しいと報告があった。烏山邦夫師(長崎教区)には、最終日に上五島で話を聞くことになった。

審 議

司教総会議案検討

経緯—学校連合会(連合会)の公認団体認定審査にあたり、常任司教委員会でカトリック校の認可についていろいろな問題が指摘された。

問題の根本は「教区と学校の関係」と思われ、教区と学校はお互いにより良い連携のために、学校教育委員会として司教の助けとなることを考えるべきではないか。

議案—司教も新しい人が増えて、「自己点検基準」を知らない人もいるかもしれない。何をもちて司教がカトリック学校と認めるかを確認することが必要ではないか。校長や理事長が変わったときにも確認する方法が必要なのではないか。次回司教総会までに形に出来ないか。

多くの意見交換が行われた後、要点が次の 8 点にまとめられた。

- ①司教が認めた学校と加盟校が一致するように、連合会は司教と連絡を取りながら努める。
教会と学校が疎遠であることが問題であり、この機会に連絡が密になるような、支えあうような方策を司教から呼びかけるための材料を提供したらどうか。司教が中心となって、司教と校長や理事長が会うことを始めていく。
- ②司教団からカトリック学校にしてほしいことを書いてみる。
- ③双方の歩み寄りが必要。教区長による差を避けたい。どの教区にも共通して出来るよう、まず自己点検評価基準の 2「教区長との連絡が適宜行われ、小教区との相互協力も行われている。」が、1の「教区長から、カトリック学校として認められている」の前提であることを書きたい。
- ④双方が話し合った上で、承認が、書面で渡されることも必要になってくるのではないか。
- ⑤一年に一度は面会して現状について話す機会を持つ。具体的に顔の見える形でコミュニケーションを深める。
- ⑥危機イコール衰退ではなく、そうならなければこのようなチャンスは訪れなかったと思い、カトリック学校と司教団のコミュニケーションを進めたい。
- ⑦学校を宣教の場としてとらえていただきたい。将来の司祭が現場を知るために神学生を送るよう進めてほしい。
- ⑧タイトルを「評価基準を確認する、コミュニケーションを深めていく『提言』」とする。

上記のポイントをもとに、高見委員長、阿南秘書、事務局が中心となって 5 月の常任司教委員会に提出できる形にまとめる。

次回会議 2015 年 6 月 18 日(木) 18:00-20:00 幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院

諸宗教部門

■2015年度第1回会議

日 時 2015年5月7日(木) 18:00-20:00
場 所 日本カトリック会館 会議室4
出席者 10人
欠席者 1人

報 告

1. 2015年アド・リミナにおける教皇庁諸宗教対話評議会訪問について
2015年3月19日から27日にかけて、アド・リミナのために日本司教団はローマを訪問した。その際に、教皇庁諸宗教対話評議会を訪問したことについて、当部門責任司教の岡田武夫大司教、担当司教の宮原良治司教、諏訪榮治郎司教、実務責任者の宮下良平師から報告が行われた。
2. 「花祭り」メッセージについて
教皇庁諸宗教対話評議会議長より発表されている、「灌仏会(花祭り)に際しての教皇庁諸宗教対話評議会から日本へのメッセージ」が今年も4月8日に発表されたことが報告された。

審 議

1. シンポジウム「人生の秋を見つめる ―諸宗教からのメッセージ―」の記録冊子の表記について
2014年9月15日に開催された「人生の秋を見つめる ―諸宗教からのメッセージ―」の記録冊子を発行するにあたり、表紙の表記について具体的な検討を行った。諸宗教部門の名称と共に「上智大学カトリックセンター 共同主催」と表記することが承認された。
2. 2015年度シンポジウムについて
今年度も下記の日程でシンポジウムを開催する。今会合ではパネリスト候補、スケジュールの確認、当日の役割分担について検討した。
テーマ 「平和のための宗教者の使命」
日 時 2015年9月26日(土)14:00-17:00
会 場 カトリック大宮教会(さいたま教区)
3. 教皇庁諸宗教対話評議会発行物の邦訳版について
教皇庁諸宗教対話評議会が発行した“Dialogue in Truth and Charity”の邦訳原稿の校閲方法、発行方法について検討した。今会合における検討内容を翻訳者に伝え、邦訳の見直しを依頼する。

次回日程 第2回会議 2015年7月1日(水) 18:00-20:00 日本カトリック会館

正義と平和協議会

■事務局会議

日 時 2015年5月15日(金) 9:00-11:00
場 所 イエズス会 岐部修道院(東京・千代田区)
出席者 6人

報 告

1. 「武力によらない平和を」憲法キャンペーンについて

- チラシ、ポスターの配布状況報告。各地からのキャンペーン参加状況の報告。
2. 2014年度決算報告について、定例会議で承認を得る。
 3. アジア司教協議会連盟人間開発局 (FABC-OHD) アジアにおける和解と平和に関する会議 (Consultation on Peace and Reconciliation in the Context of Asia Today) (2015年4月7日-11日、タイ・バンコク) の報告

審 議

1. 安全保障法制の関連法案閣議決定についての抗議声明について
閣議決定についてではなく、決定内容に関する懸念表明を作成し、5月21日宗教者ネットの内閣府申し入れの際に提出する。
2. 濟州島平和大会 (2015年9月7日-9日) について
光延一郎委員より、上記大会への参加要請があり、事務局から参加者を派遣する。

■定例会議

日 時 2015年5月15日 (金) 11:10-17:00
場 所 イエズス会 岐部修道院 (東京・千代田区)
出席者 13人

報 告

1. 第39回正義と平和全国集会東京大会実行委員会
申し込み状況。7月に分科会担当者も含め全体会を行う予定。
2. アド・リミナ、FABC「アジアにおける和解と平和に関する会議」の報告
3. 「武力によらない平和を」憲法キャンペーン状況
4. 平和のためのフクシマバスツアー (2015年9月23日-25日) 進捗状況
5. 練成会企画について
日時 2016年2月6日-7日、講師 林 尚志師 (イエズス会)、場所 鹿児島

審 議

1. 2014年度決算の承認を得た。
2. 戦後70年司教団メッセージ「平和を実現する人は幸い」を普及するために、どのような方法が効果的か、各地の状況を踏まえて検討を行った。
3. 2016年度全国集会について、開催地を検討した。
4. 安全保障法制の関連法案閣議決定についての抗議声明作成について

■平和のための脱核部会事務局会議

日 時 2015年5月16日 (土) 10:00-12:30
場 所 日本カトリック会館 6階
出席者 4人

審 議

1. 第39回正義と平和全国集会東京大会分科会タイムスケジュールについて
2. 平和のためのフクシマバスツアー日程、および下見の実施について
3. 今後の予定について

■平和のための脱核部会第五福竜丸展示館見学会

日 時 2015年5月16日(土) 14:00-16:30
場 所 東京都立第五福竜丸展示館 (東京・江東区)
出席者 8人

内 容

展示館見学後、学芸員の市田真理さんの指導で、久保山愛吉さんのもとに寄せられた手紙を輪読するワークショップを行った。

■NCC 女性委員会

日 時 2015年4月8日(水) 10:30-13:00
場 所 日本聖公会 聖バルナバ教会 (東京・新宿区)
出席者 カトリックから1人

報 告

世界祈祷日の献金報告

審 議

1. 世界祈祷日編集委員、「ともに証を」編集委員メンバーについて
2. 第13回日本軍「慰安婦」問題解決のためのアジア連帯会議(5月21日-22日)への委員派遣について
3. 1泊研修会について

■NCC 平和・核問題委員会

日 時 2015年4月22日(水) 14:00-16:00
場 所 日本福音ルーテル教会 稔台教会 (千葉・松戸市)
出席者 カトリックから1人

報 告

1. 「原発体制を問うキリスト者ネットワーク」主催講演会が、5月16日(土)に日本キリスト教団信濃町教会で行われる。
2. 沖縄キリスト教協議会は、3月29日に「辺野古新基地建設は絶対に阻止されねばならない」声明を出した。

審 議

講演会開催について

日 時 2015年9月26日(土)13:00-15:30
場 所 日本福音ルーテル教会 東京教会
テーマは次回委員会で検討する。

部落差別人権委員会

■事務局会議

日 時 2015年3月12日(木) 11:00-15:00
場 所 日本カトリック会館 会議室3
出席者 9人

報 告

1. 前回2014年度第4回事務局会議(1月20日)の議事録確認
2. 春季合宿(2月7日-8日、大阪・貝塚市)
3. 大阪教会管区部落差別人権活動センター
4. ハンセン病市民学会 第11回総会・交流集会 in 東京・駿河(5月9日-10日)
5. 狭山事件の再審を求める市民集会(5月21日、日比谷野外音楽堂)
6. 事務局メンバーのうち二人が発題をして、それぞれの差別・人権などに対するそれぞれの想いを分かち合う時間をもった。今後しばらく続ける。

審 議

1. 全国会議2015(7月10日-11日、大阪・サクラファミリア)
講師はNPO法人「こどもの里」職員の植月智子^{さとこ}さんに依頼する。昨年と同じ人に案内を送る。
2. 第39回正義と平和全国集会東京大会(9月21日-23日)
分科会 石川一雄さん夫妻の話の後に茶話会を行う。
上映会 映画『SAYAMA』上映と監督トークを麴町教会のヨセフホールで行う。
多くの人の参加、協力が必要になるので定例委員会で呼びかける。
3. シンポジウム(10月24日、カトリック関口教会・ケルンホール)
シンポジスト 崔^{ちよ}春子^{ちゆんじや}、中村一成^{いるそん}、吉岡秀紀、司会 石川治子が決定。
テーマ・タイトルは、定例委員会で決定する。
4. 秋季合宿(11月28日-29日、千葉・野田市)
会場 初日はフィールドワークの場所に近い野田市内のホテル、二日目は豊四季教会で行う。
5. 来年度の予定について
2015年度の予定表を確認。2016年春季合宿(2016年3月頃)は長崎を開催地として、次回の定例委員会で検討する。

■定例委員会

日 時 2015年4月24日(金) 11:00-16:00
場 所 日本カトリック会館 会議室2
出席者 18人

報 告

1. 社会福音化推進部の人事について
石川治子修道女の2105年3月末での社会福音化推進部長退任、後任の清川泰司師(大阪教区、中央協議会事務局次長)の着任が報告された。
2. 橋本瑠璃子修道女の専門委員、事務局会議メンバー退任が報告された。
3. 2014年度第4回定例委員会(2014年12月3日)の議事録確認
4. 春季合宿2015(2月7日-8日、大阪・貝塚市)

映画『ある精肉店のはなし』の舞台となった地区で、映画の鑑賞、北出新司さん、井上秀和さんの講演、フィールドワーク、貝塚教会での解放ミサなどを行った。参加者 42 人、フィールドワーク参加者 33 人。

5. 大阪教会管区部落差別人権活動センター

所長が高島政行師から吉岡秀紀師に、主事が橋本修道女から松浦三千代修道女に交代。橋本修道女は理事として残る。5 年ごとの活動報告を冊子にまとめている。

6. その他

1) ハンセン病市民学会 第 11 回 総会・交流集会 in 東京、駿河（5 月 9 日－10 日）

会場 日経ホール、駿河療養所・神山復生病院

2) 狭山事件の再審を求める市民集会 キリスト者前段集会（5 月 21 日、日比谷野外音楽堂）

審 議

1. 2014 年度決算を承認

2. 全国会議 2015（7 月 10 日－11 日、大阪・サクラファミリア）

講師 植月^{さとし}智子さん（NPO 法人「こどもの里」職員）

困難を抱えている子どものそばにいる人から話を聴く。

テーマ 例えば「貧困と差別 ～子どもたちをとおしてみえるもの～」などが考えられる。

招待者 各教区で、テーマに関心のある人を推薦してもらおう。

3. 第 39 回正義と全国集会東京大会（9 月 21 日－23 日）への参加

22 日（火）に、午前は映画『SAYAMA』上映会と金監督トーク、午後は石川一雄さん夫妻に来てもらい分科会を行う。パネル展や販売などのブースも 22 日になる可能性が高い。22 日に集中するため、当日はかなり多くの人手が必要になる見込み。東京、さいたま、横浜教区の委員を中心に、多くの協力者を依頼してもらおう。

4. シンポジウム

日時 10 月 24 日（土）13:30－16:30

会場 カトリック関口教会 ケルンホール（準備のために午前から使用可能）

シンポジスト

- ・当事者として 崔^{ちえ}春子^{ちゆんじや}さん（在日大韓基督教会高槻伝道所牧師）
- ・全体の状況を 中村^{いるそん}一成さん（ジャーナリスト）
- ・福音・信仰とのかかわり 吉岡秀紀師（大阪教区）

司会 石川治子（聖心侍女修道会）

タイトル（案） 「人間のいのちと尊厳 ～差別、排外主義にどう向き合うのか～」

事務局会議で再度検討する。

顔合せ・打合せ 7 月 11 日（土）午後（全国会議終了後）にシンポジスト、司会、秘書、事務局が参加して行う予定。

5. 秋季合宿（11 月 28 日－29 日、千葉・野田市）

福田村事件（1923 年の関東大震災 5 日後の 9 月 6 日に、福田村（現 野田市）で香川県の被差別部落出身の行商人一行が自警団に襲われ、幼児、女性を含む 9 人が殺害され、遺体が利根川に流された惨劇）の学習とフィールドワークを行う。二日目は、豊四季教会を会場に、佐倉、酒々井^{しすい}について DVD などを使って学習する。

6. 2016 年春季合宿（長崎）について

メインテーマ「原爆と被差別部落とキリシタン」（仮）

講師（案） 阿南重幸さん（NPO 法人長崎人権研究所 事務局長）

下窄英知師（長崎教区事務局長）

川口昭人師（長崎教区）から、上記内容を提案された。

検討の結果、2016 年 3 月 5 日－6 日の日程で実施するための準備を進めることにした。

7. その他

2月11日「産経新聞」掲載 曾野綾子さんのコラム「労働力不足と移民」について
抗議などを検討したが、すでに二か月半たって時機を失しており、今回は出さないことにする。

日本キリスト教連合会（日キ連）

■2014年度第6回常任委員会

日 時 2015年4月23日（木）11:00-12:00
場 所 日本カトリック会館 会議室2
出席者 10人

文化庁宗務課 新任あいさつ 大金伸光課長・猿渡 毅課長補佐・富田大志宗教法人室長
報 告

1. 日本宗教連盟（日宗連）久保委員
 - ・協賛金の2割-3割の値上げが計画されている。試算資料を作った。分担金を1割値上げする必要がある。値上げする場合、次回総会で諮る必要がある。
 - ・宗教文化セミナーを6月5日に杉並区で開催。テーマは「家族のあり方について」。
2. 東京都宗教連盟（都宗連）廣瀬委員
 - ・廣瀬委員、道家委員、浦野雄二師（カトリック東京教区）が出席している。
 - ・秋の研究協議会のために7月頃から理事会が開かれる。次回5月22日は廣瀬委員が出席する。
 - ・会計報告 「宮城研修関係」「慰霊協会」の説明があった。
3. 事務局
 - 1) 日キ連あての文書
 - ・日宗連より平成27年度第1回、第2回の理事会開催予定の案内、ならびに26年度第4回理事会資料を受領した。
 - ・2月12日に開催した第2回定例講演会の記事が、クリスチャン新聞とキリスト新聞に掲載された。
 - ・2月15日開催の京都「InterFaith 駅伝2015」で日キ連より出走した郡山健次郎司教の記事が、毎日新聞（京都版）ならびにカトリック新聞2月22日号に掲載された。
 - ・WCRP（世界宗教者平和会議日本委員会）12月号、2月号受領
 - ・WCRP日本委員会より、3月6日開催の「平和大学講座」（京都）と3月16日開催の「防災と宗教」シンポジウム（仙台）の案内、イラク避難民支援募金の依頼を受領した。
 - ・国際宗教研究所より『宗教と現代がわかる本2015』が刊行され受領した。
 - ・文化庁より「宗教法人が行う事業等に関する制度の現状について（平成26年度宗教法人制度の運用等に関する調査研究協力者会議報告書）」を受領した。
 - ・文化庁より、「宗教年鑑」（平成26年度版）、「宗務事報」（119号）を受領した。
 - ・日宗連より、6月5日開催の第4回宗教文化セミナーの案内を受領し、加盟団体に案内した。
 - 2) 事務局対応
 - ・継続審議していた竹内雄一弁護士には、文書をもって回答した。
 - ・総会案内を発送した。
 - 3) 2015年度日本キリスト教連合会総会出席者・委任の報告
出席者22人、委任26人で計48人。定数を満たしており成立する。

審 議

1. 2014年度決算について 誤りを訂正して承認された。

2. 2015年度予算案について 誤りを訂正して承認された。
3. 本日の総会
 - 12:00 開会の祈り・開会宣言(宮下委員) 食事と歓談
 - 12:40 諸報告 活動報告・団体状況(矢木委員)、日宗連(久保委員)、都宗連(道家委員)
 - 13:10 審議事項(矢萩委員) 決算・予算(久保委員)、活動計画(八木委員)
 - 13:30-15:30 講演会 大澤真幸さん(社会学者)「戦後70年を見据えて～憲法と宗教～」
講師紹介(矢萩委員)
 - 15:30 閉会の祈り(白川委員)
4. その他
 - 単立の教会から加盟申請を受け、面会した。本田委員に調査を依頼した。

次回日程 2015年度第1回常任委員会
2015年5月21日(木) 15:00-17:00 日本カトリック会館

■2015年度総会

日 時 2015年4月23日(木) 12:00-15:30
場 所 日本カトリック会館 マレラホール
出席者 22人、委任26人 合計48人(議員総数70人、定足数35人)
議 長 宮下委員

<第1部 総会>

報 告

1. 活動報告(矢木委員)
2. 日本宗教連盟報告(久保委員)
3. 東京都宗教連盟報告(道家委員)

審 議

1. 2014年度決算について
久保委員は、総会資料「日本キリスト教連合会2014年度決算(案)」について説明した。また、清川陪席が監査を実施したことを報告した。
宮下議長は承認について諮ったところ、全員一致で承認された。
2. 2015年度活動計画について
矢木委員は、総会資料「日本キリスト教連合会2015年度活動計画(案)」及び「2015年度日本キリスト教連合会予定表」に従って説明した。
宮下議長は承認を諮ったところ、賛成多数で承認された。
3. 2015年度予算について
久保委員は、総会資料「日本キリスト教連合会2015年度予算(案)」に従って説明し、提案した。
宮下議長は承認を諮ったところ、賛成多数で承認された。

<第2部 講演会>

講師紹介 (矢萩委員)

テーマ 「戦後70年を見据えて～憲法と宗教～」

講 師 大澤真幸さん 「憲法の条件 戦後70年から考える」共著者

1958年長野県松本市生まれ。東京大学大学院社会学研究科博士課程単位満期退学。

社会学博士。千葉大学文学部助教授、京都大学大学院人間・環境学研究科教授を歴任。

15:30 定刻に閉会した。

外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会（外キ協）

■事務局会議

日 時 2015年3月31日（火）18:00-20:30
場 所 日本キリスト教会館（東京・新宿区）
出席者 カトリックから1人

報 告

1. 外国人住民基本法の制定に向けて、2014年署名で2015年1月末に集約したものを3月の通常国会に提出した。
2. 3・11合同祈祷会について
3. 各教団・教派へ「2015年度分担金と協賛金についてのお願い」を来週発送する。

審 議

2015年活動計画を検討した。

- (1) 学習会資料「外国人住民基本法」を完成し、パンフレット『外国人住民基本法』と一緒に活用して、教派団体の関係委員会、各教会で学習会を開催するよう呼びかける。
- (2) 入管法 2015年改悪案に対して
 - ① 法務委員への意見書案の検討
 - ② 4月-5月に院内集会や市民集会を開き、問題点を理解してもらう。
 - ③ カトリック難民移住移動者委員会が作成・発行した「改訂出入国管理及び難民認定法（改定入管法）サバイバルチェックリスト・あなたは大丈夫？」を利用する。
- (3) 今後の活動日程の確認
 - ・ 共同代表者会議は、5月に行う予定。
 - ・ 移住労働者と連帯する全国ネットワーク（移住連）の全国フォーラム 2015年6月13日-14日
 - ・ シンポジウム「入管法を問う」 2015年6月27日
 - ・ 「マイノリティ問題と宣教」国際会議 2015年11月18日-21日

HIV/AIDS デスク

■第1回 HIV/AIDS デスク会議

日 時 2015年5月7日（木）15:00-17:00
場 所 日本カトリック会館 会議室3
出席者 8人

報 告

1. AIDS文化フォーラムin佐賀（2月21日-22日、佐賀大学・本庄キャンパス）
九州で初めて佐賀大学キャンパス内での開催で、一般の参加者はあまり多くなかったが、医学系の教員、学生が多数参加していた。「宗教とAIDS」のシンポジウムも行われ、カトリック新聞に掲載された。
2. <薬害エイズを考える山の手の手会>学習会（3月10日、東京ボランティア市民活動センター）
カトリック HIV/AIDS デスクから2人が参加して啓発活動を紹介した。
3. ピーター・ピオット回想録 出版記念セミナー（4月17日、慶應義塾大学・三田キャンパス）
元 HIV/AIDS デスク委員の樽井正義さん、他2名が翻訳した本の出版記念セミナー。カトリックとしての

ピオットさんの話が良かった。9月の第39回正義と平和全国集会東京大会分科会で講師を依頼した高久陽介さん(NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス代表)の対談もあった。

4. サポーター登録状況

教区報を見て応募してきた人や、横浜のフォーラムでHIV/AIDSデスクの存在は知っていたが、Facebook(フェイスブック)を見て啓発の取り組みに賛同したという人など、少しずつ増えている。

5. プロテスタント教会での講演依頼

カトリックがHIV/AIDSの啓発をしている事に関心を持ったと講演依頼の申し込みが届きました。

審 議

1. デスクのホームページについて

内容について話し合い、活動報告、お知らせ、リンク、講師派遣などを入れることを決めた。

2. 京都 AIDS キャンドル・パレード(5月16日、京都市役所前-円山公園)について

今年も後援団体として参加し、カトリックの啓発活動を紹介する予定。

3. 第39回正義と平和全国集会東京大会の分科会について

会場は四谷に決定。参加予定の4人のデスク委員は各自申し込みをする。

4. カトリック新聞への広告出稿について

12月1日の世界エイズデーに向けて、11月22日号に掲載を依頼する。半年前から編集がスタートするので早めに申し込む。

5. デスクの活動方針について

若い年代だけでなく、中高年への広報、感染者への配慮など、デスクとしての姿勢について話し合った。

6. 今後の宗教部会などとの共催企画について

プロテスタント学校への働きかけを進める。

次回日程 2015年7月15日(水) 15:00-17:00 日本カトリック会館

中央協議会事務局

■総務

7月会議予定

1日(水)	第2回諸宗教部門会議	日本カトリック会館
2日(木)	常任司教委員会	〃
2日(木)	子どもと女性の権利擁護のためのデスク 対応チーム会議	〃
2日(木)	社会司教委員会司教秘書合同会議	〃
3日(金)	正義と平和協議会事務局会議	〃
3日(金)	難民移住移動者委員会事務局会議	〃
3日(金)	第1回「同宗連」第2連絡会	浄土宗 宗務庁(京都市)
4日(土)	社会司教委員会シンポジウム	河原町教会(京都市)
6日(月)	典礼委員会定例会議	日本カトリック会館
6日(月)	部落差別人権委員会事務局会議	〃
14日(火)	カリタスジャパン啓発部会	〃
14日(火)	日本キリスト教連合会常任委員会	〃
15日(水)	HIV/AIDS デスク会議	〃
16日(木)	カリタスジャパン援助部会	〃
16日(木)	「同宗連」第2回常任会議	〃

カトリック中央協議会 「会報」 2015年7月号 (通巻526号)

発行日 2015年6月20日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <http://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457